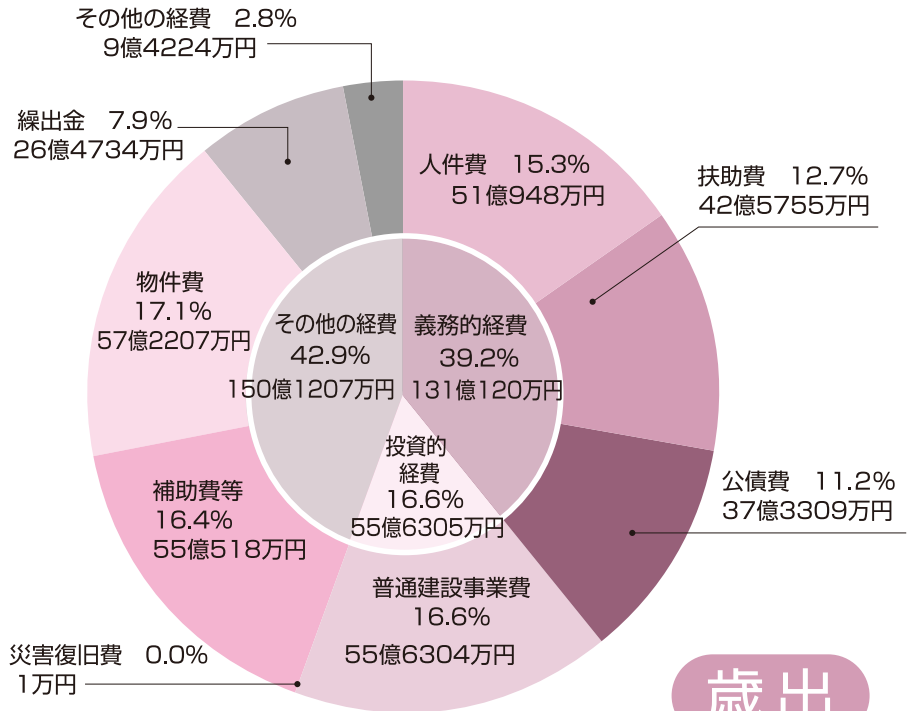


平成30年度 一般会計予算 334億

引き続き『知恵と愛のある 協働互敬のまち』

「子ども・子育て支援」を強化
子育てコンシェルジュの配置、産婦健康診査事業などを支援するための当初予算は、より良い子育て環境づくりの配置や、産後うつや新生児に対する虐待を予防するため、産婦の健康確保を図るための健康診査実施などの子育て支援に関する予算が計上されました。また障害者、高齢者福祉に至る扶助費の増加や、本格的工事の2年目となる新庁舎建設事業費が増加しますが、小学校改築事業の終了や国庫支出金の動向を見定めながら、編成方針に沿った歳出の削減を実行したことにより、一般会計の予算規模は、前年度と比較して、15億2000万円、4・3%減の334億8000万円となりました。



※1万円未満を端数処理しているため、実際の数値と異なることがあります。

歳出

歳出

歳出について、人件費は前年度比5750万6千円、1.1%減の51億948万1千円、扶助費は前年度比1423万円、0.3%増の42億5755万円、0.3%増の42億5755万5千円、公債費は前年度比1億2775万1千円、3.3%減の37億3308万7千円となり、義務的経費全体では前年度より1億7102万7千円減少しました。

投資的経費である普通建設事業費は、前年度比11億5372万7千円、17.2%減の55億6304万1千円と大幅な減額となりました。内訳としては、国などによる補助事業費が前年度比14億367万円、44.7%減の17億3541万4千円と大きく減額とな

り、市単独事業費は前年度比2億4994万3千円、7%増の38億2762万7千円となっています。

歳出の主な新規・拡充事業としては、市庁舎復興再整備事業、新庁舎ネットワーク構築事業の他、国の「強い農業づくり交付金」を活用した生産から流通まで総合的に強い農業づくりの実現や栃木デステイネーションキャンペーンにおける特別企画イベント等の事業費、子育てに対する不安や孤独感の解消などを支援するための子育てコンシェルジュ配置事業、医療と介護の両方を必要とする高齢者への在宅医療・介護連携推進事業、自転車を活用したサイクルイベント事業、消防施設整備事業などがあります。

